

日本向け個人情報保護及び 情報流出防止技術

(株)ジランジギョデータ

目次

1. 企業紹介
2. 技術・製品紹介
3. 市場現況及び見込み
4. 権利獲得現況
5. マーケティング目標

1. 企業紹介

会社名 (設立日)	(株)ジランジギョデータ (2020年4月1日)	代表者	ハングル: ソウオンヒ 漢字: 英文:
技術分野	情報セキュリティ	主要製品	個人情報保護/ 情報流出防止SW
資本金	1,000百万ウォン	売上 (2021年)	11,334百万ウォン
従業員	61名	事業者 登録番号	760-81-01944
住所	大田広域市儒城区官坪洞 1359 (ハンシンエスメカ 603号)		
Homepage	www.jirandata.co.kr	E-mail	
TEL		FAX	

2. 技術・製品紹介

□ 技術・製品概要

・ 技術及び製品定義

技術定義	日本向け個人情報保護及び情報流出防止技術
製品名	PCFILTER
製品定義	PCFILTERは、PC内に存在する固有識別情報など個人情報や敏感な情報を安全に管理および保護する様々な行為(媒体、出力、ファイル添付、キャプチャーなど)による重要情報の外部流出防止およびPCセキュリティ安全性診断および措置を提供

・ 開発背景

技術開発背景	政策：2022年日本で施行される「改正個人情報保護法」により、個人情報漏洩した企業の法的・財政的負担が一層重くなる見通しだ。 市場：企業内の個人情報/企業情報データの流出を防止するためのニーズは大きくなっているが、現在個人情報と企業情報の市場が分離されているため、統合機能提供ソリューションが存在しない。
必要性	日本の中小企業が個人情報保護および企業情報流出防止システム2つを別々に導入しなければならないため発生する予算や管理の問題を根本的に解消できる。

2. 技術・製品紹介

□ 技術・製品特徴

・ 特徴

1. マルチOS支援エンドポイント個人情報保護及び情報流出防止(DLP)支援

- 日本の個人情報保護ソリューション企業1~3位の企業は開発者不在や外注開発による技術力不足および公共機関/大企業中心営業でMacOS支援が不可能であり、中小企業対象市場拡大に限界がある。
- これにより、主管企業はMacOSをサポートしてマルチOS環境で個人情報保護環境を提供

2. クラウド基盤のインフラ提供

- 日本の中小企業はIT専門知識がある管理者がいいため、クラウド基盤のシステムを好む傾向があり、日本国内の競合他社製品はオンプレミス(構築型)基盤であるため、日本の中小企業が導入することが難しい。主管機関はクラウド基盤の個人情報保護システムを提供し、専門IT管理者がいらない大多数の中小企業で導入できるように差別化推進

3. AI技術適用

- 自然言語処理AI技術を活用して日本語文章内で単語(個人名)を認識して抽出分類する技法を活用し、名前、住所、電話番号などの個人情報オブジェクトを分離し、キーワードマッチング技術だけを活用する**従来の日本企業とは差別化された機能**を提供

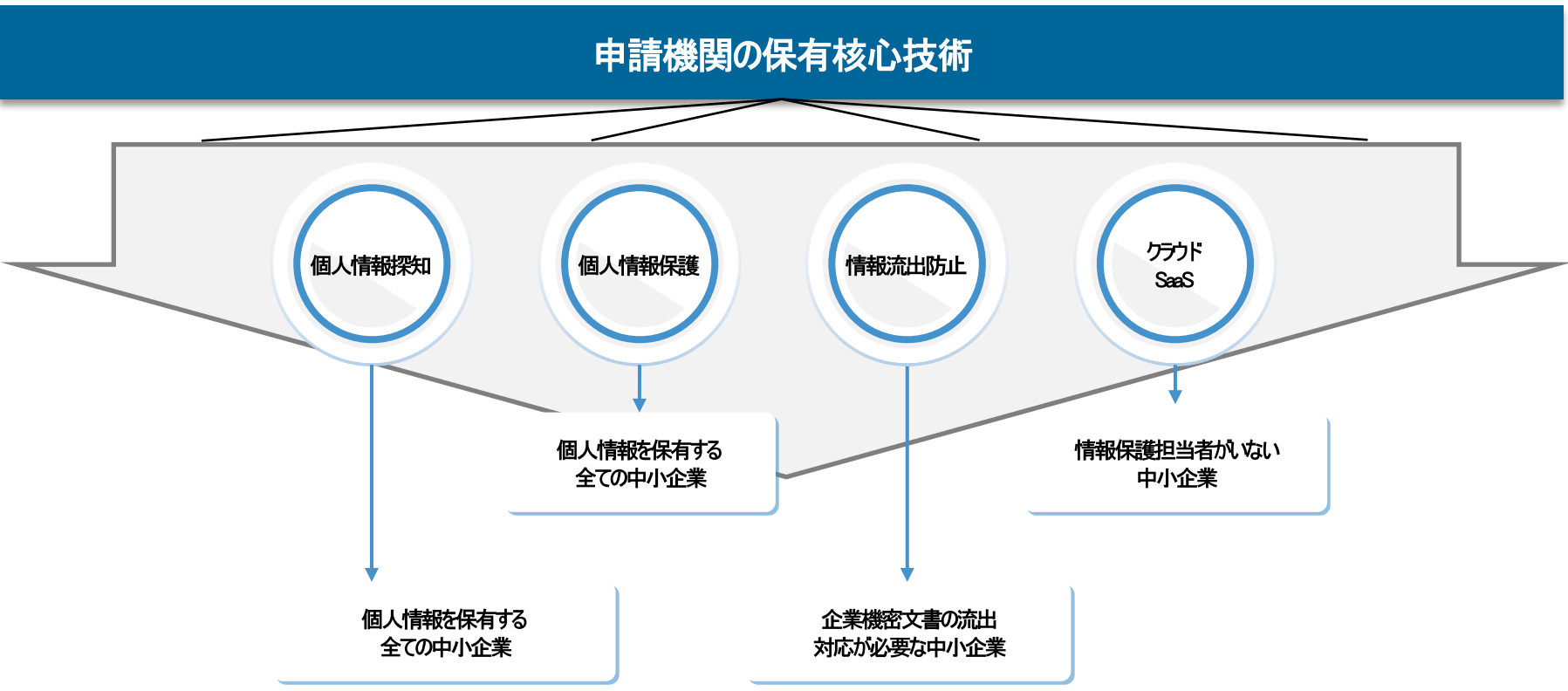
2. 技術・製品紹介

□ 既存技術・製品との比較

区分	当社技術の優位性	既存技術
探知技術	<ul style="list-style-type: none">- AI技術である脈絡基盤のNER(個体認識)技術- 正規式基盤のキーワードマッチング	<ul style="list-style-type: none">- 正規式基盤のキーワードマッチング
対応OS	<ul style="list-style-type: none">- Windows/Mac OS	<ul style="list-style-type: none">- Windows
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none">- クラウドSaaS	<ul style="list-style-type: none">- 構築形(On-Premise)
主要機能	<ul style="list-style-type: none">- 個人情報保護 + 情報流出防止(統合提供)	<ul style="list-style-type: none">- 個人情報保護/情報流出防止- 個別製品(製造社が異なる)
主要顧客	<ul style="list-style-type: none">- 中小企業(SMB市場)	<ul style="list-style-type: none">- 大企業/公共機関
主要製品	<ul style="list-style-type: none">- PCFILTER(韓国)	<ul style="list-style-type: none">- Arara : P-Pointer(日本市場1位)- 三菱 : スミスミグン(2位)- Pi-Checker : Pi-Checker (3位)
市場規模	<ul style="list-style-type: none">- 進出予定	<ul style="list-style-type: none">- 約8,000万ドル(約950億ウォン)- (日本の個人情報保護市場)

2. 技術・製品紹介

□ 技術・製品の適用範囲及び応用分野



2. 技術・製品紹介

□ 価額

	国内B2B価額	輸出B2B価額	技術移転価額	備考
PC FILTER	1User : 年5万ウオン	1User : 80ドル (年間購読型)	-	クラウド SaaS

・ 日本競合他社の現況

競合他社	製品名	販売価額(年)	2021年予想
Arara	P-Pointer	USD 90	USD 25,000,000
三菱ソフトウェア	スミスミグン	USD 95	USD 15,000,000
Pi-Checker	Pi-Checker	USD 80	USD 5,000,000
合計			USD 89,000,000, 約450億ウオン

[表]日本の個人情報保護市場、資料：2019年富士経済資料を基にした推定値

3. 市場現況及び見込み

□ 国内市場現況及び見込み

・ 個人情報保護市場現況

データ3法の本格的な施行

- 個人情報保護法・情報通信網法(情報通信網利用促進及び情報保護等に関する法律)・信用情報法(信用情報の利用及び保護に関する法律)改正案施行
- データを安全に活用できるよう改正
- 個人の情報主権を保障することを目的とするマイデータ事業の施行により、関連ビジネス市場の拡大

情報保護産業市場現況 (情報保護事業の実態調査2020、韓国インターネット振興院)

区分	情報セキュリティ		物理セキュリティ		合計	
	2019年	2020年(E)	2019年	2020年(E)	2019年	2020年(E)
売上高 (百万ウォン)	3,618,773	3,907,425	7,561,734	7,991,197	11,180,507	11,898,622
成長率(%)	8		5.7		6.4	

表: 国内市場規模

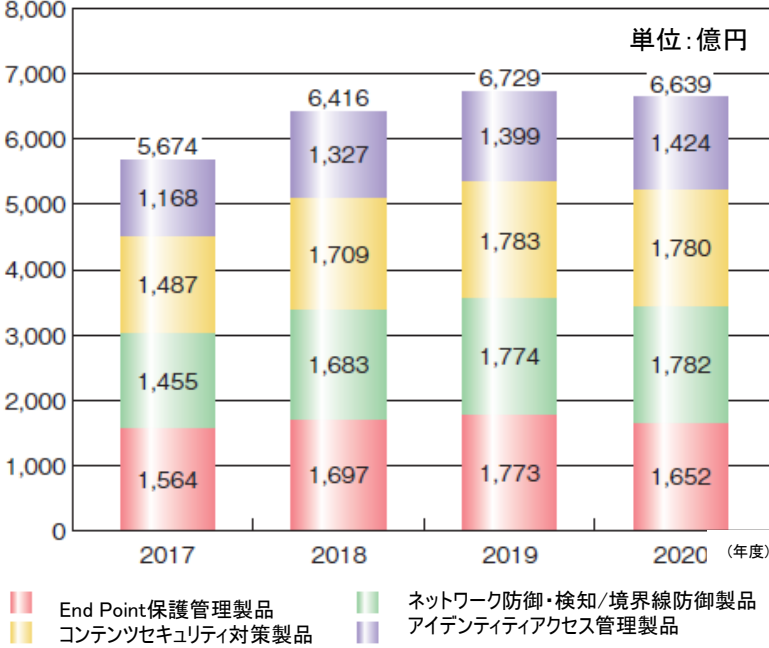
表: 情報保護輸出推移(百万ウォン)

区分	情報セキュリティ	物理セキュリティ	合計
2014年	72,989	1,454,461	1,527,450
2015年	78,133	1,545,540	1,623,673
2016年	88,978	1,400,102	1,489,080
2017年	94,398	1,475,755	1,570,153
2018年	82,363	1,473,769	1,556,132
2019年	122,766	1,657,080	1,779,846
2020年(E)	146,646	1,789,413	1,936,059
CAGR('14-'20)(%)	12.3	3.5	4.0

3. 市場現況及び見込み

□ 日本市場現況及び見込み

・日本のセキュリティ市場現況



当社の主要ターゲット市場である個人情報保護及びDLP市場は、コンテンツセキュリティ対策製品市場規模(1.8兆)のうち10%~15%を占めると推定される(約3,100億ウォン規模)

分類	主要製品群	市場規模
コンテンツセキュリティ対策製品	DLP、DRM、暗号化、脆弱性検査、情報保護、URLフィルタリングなど	1.8兆ウォン (1,780億円)
個人情報保護	コンテンツセキュリティ1.8兆市場のうち個人情報保護市場規模	450億ウォン (約45億円)
情報流出防止(DLP)	コンテンツセキュリティ1.8兆市場のうち情報流出防止市場規模	2,650億ウォン (約265億円)

表: 日本の情報セキュリティ市場規模 (KOTRA大阪貿易館、2020年)

3. 市場現況及び見込み

□ 国内外製品販売実績(契約含む)

	国内販売実績	輸出実績	その他実績	備考
申請製品の販売実績	2021年PCFILTER売上 5,132百万ウォン	-	-	-

- ・国内主要リファレンス
 - 顧客社: 約4,000社/公共機関
 - 使用ユーザー数: 60万
 - 事業業暦: 10年



4. 権利獲得現況

□ 申請技術・製品関連の韓国及び海外出願、登録現況

番号	出願状態	特許番号	出願日	特許名
1	登録	1022251000000	2021-03-03	人工知能(AI)を利用したDNAベースのわいせつ動画遮断方法および装置
2	登録	1013265870000	2013-11-01	電子機器におけるアプリケーション実行制御方法およびその方法が記録された記録媒体
3	登録	1014274120000	2014-07-31	データ流出防止のための悪性コード探索方法および装置
4	登録	1014280040000	2014-08-01	データを流出する悪性コード探索方法および装置
5	登録	1021290290000	2020-07-02	セキュリティ対象プログラムの実行制御方法およびモバイル機器
6	登録	1021290300000	2020-06-25	電子文書のセキュリティ情報非識別化方法および装置
7	登録	1021290310000	2020-06-25	動画内のセキュリティ情報の非識別化方法および装置
8	登録	1021350220000	2020-07-13	オーディオ内のセキュリティ情報非識別化方法および装置
9	登録	1022793590000	2021-07-14	選択的非識別個人情報情報の活用方法および装置
10	登録	020526220000/	2019-11-29	コンピュータストレージのためのロック装置およびシステム

4. 権利獲得現況

□ ノウハウ及び他の保有技術現況

- AI 基盤の個人情報探知技術

- AI形態素分析: 自然言語処理(NLP, Natural Language Processing) AI技術の中、Word Embeddingをとおして日本語形態素分析
- 日本語物体認識は自然言語処理AIアルゴリズムであるNER(Named Entity Recognition)技術を用いて日本語文章内で単語(個体名)を認識して抽出分類する技法で、名前、住所、電話番号など個人情報を分離することが可能

- ・ 日本語文章に識別子がない場合

現在技術(競合社)	技術開発(ジランジギョデータ)
山口さんは転職のために山口に引っ越ししました。	
名前探知結果: 山口 山口(重複探知) 住所探知結果: 探知結果無し	名前探知結果: 山口(名前)として認識 住所探知結果: 山口(住所)として認識
住所に地域を意味する「県」が無ければ名前として認識する。	AI技術を活用して文脈を把握し、同じ単語を名前/住所に正確に区分する。

5. マーケティング目標

□ 技術移転、投資誘致、輸出、共同研究、代理店など

• 日本進出計画

- ソフトウェアの海外進出は国別文化と需要の理由が異なるため、別の現地化作業が必要であり、現地の状況に精通した事業パートナーを通じて試行錯誤を減らし、早期に軟着陸できるようにする計画である。
- 日本のパートナー社である(株)LIONICE(日本東京)と共同で事業妥当性調査及びソリューションの現地化開発を進める。

• 日本パートナー社とのマーケティング及び現地化計画

- 日本語バージョン開発、日本現地のユーザビリティ/機能テスト
- 日本製品紹介ランディングページ構築
- 新サービスプレスリリース
- 潜在顧客企業を対象にニュースレターを発送
- オンラインメディア向けサービス紹介掲載
- 製品の必要性喚起及び広報のための各種セミナー開催